

# かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 7 No 05

7 0 号

平成11年 5月 1日

発行 かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.ifnet.or.jp/kazu.k/>

## シシちゃんとテトちゃん

### 院 長

以前に我が家の猫の話を書いたことを、覚えているでしょうが新しい猫が来たので、また話をしましょう。

昨年11月に雌の小猫“シシ”が、我が家にやって来ました。キューちゃんとクロちゃんのこと(平成10年10月号)もあったので、まるで赤ちゃんが生まれたかのような気持ちで飼い始めました。人の姿を見ると隅の方に逃げ、大きな音がしたかと思うとびくっと飛び上がる、どうも臆病なタイプのような感じでした。時間の経過とともに、次第に我々になつくようになってきました。動物では食べ物への影響力は大きく、やはり今回も食事の世話をする育ての母である家内に、一番なついていくのでした。家内が呼ぶとしっかり反応するようになり、ひざの上に上り「ごろごろ」するのです。しかし小生を含め他の家族には、寂しくなったりお腹が減ると甘えるのですが、満腹の時には呼んでも反応もなく寄ってもこないことさえあります。“シシ”をなつかせるために、甘やかす自分を見て、もう一度子育てをしている気持ちになりました。猫一つとってみても、またまた母親の力の強さには驚かされてしまいます。

“シシ”も慣れてきたので、楽しく暮らせるように遊び相手として雄猫を飼うことが決まりました。今年の4月に、雄猫が我が家にやって来て、“テト”と名付けられました。性格は“シシ”とはかなり違って、人間に対する怖さはほとんどありませんでした。抱っこしてもいやがることもなく、従順な猫という印象でした。人なつっこいだけでなく、猫なつっこさもありました。

誰も問題が起きることなど予想はしていませんでした。しかし“シシ”の反応ががらっと変わってしまったのです。友達や兄弟がいれば楽しいのという、単純な期待は見事に裏切られてしまったのです。“テト”は“シシ”を慕って追いかけるのですが、“シシ”はシャーと威嚇するのです。威嚇され続けながらも、“テト”は無邪気に歩み寄っていくのです。引っ掻かれても噛まれても、まるでお

姉さんを慕っているようで、何度も甘えようとしているのです。しかしその甘えや無邪気さが、“シシ”には通じないのです。まるで独り占めしていた愛を奪われたかのように、焼きもちを焼いているようにも見えてしまいます。よく見ると“シシ”は威嚇しながら、後ずさりをしているの



です。「弱い犬ほど、よく吠える」の諺のように、怖がっていることの裏返しの反応にも見えるのです。次第に、威嚇の反応は“テト”だけでは、すまなくなってきたのです。小生や家族、終いには家内にまで威嚇するようになってきました。不思議なことに部屋に一匹にいるときには甘えるのですが、“テト”の気配がするだけで反発するのです。

こんな姿を見ているうちに、ふと15年前の光景を思い出しました。長女は甘やかされて育ち、長男が生まれるとストレスを感じていたことです。最初の子は、親の十分な愛に支えられて育っていくもので、周りすべてが自分の味方だけなのです。また親も神経質になり、過保護気味になることは仕方がないことです。二人目になると親も余裕は出て来ますが、親の愛も分けて与えなければなりません。十分な愛を注がれた最初の子には、愛が減ることが理解できないのです。逆に二人目の子どもは、最初から敵(表現は余りよくありませんが)がいるのです。その競争によってたくましく、育っていくものです。兄弟の違いは、持って生まれた性格よりも、環境によって作られる部分も大きいのでしょうか。

二人の子どもに同じように愛を与えることは、困難です。まして母親は一人なのですから、不可能なことです。状況を考え、それにあった愛の与え方を考えなければならないはずですが、人間と猫を同じに考えるわけにはいきませんが、子どもとしての感じ方は同じかもしれません。今回のエピソードを通して、またまた子育てについて学ばされた気がします。

### 5月のお知らせ

#### 栄養・育児相談

毎週水曜日

13:30~14:30

栄養士担当、参加無料



### ポリオ予防接種について

4月で泉区の接種は終了しています。しかし受けられなかった場合には、[5月11日~14日まで青葉区、宮城野区](#)で行っています。他の区の方でも大丈夫なので、なるべく受けるようにしてください。詳しくは、受付まで。接種の受付時間は、午後1時30分~3時です。

## 読者の広場

4月24日は午後休診で、御迷惑をおかけしました。掲示のように、小生がもと働いていた日立製作所日立総合病院の新生児集中治療室の同窓会へ出席してきました。患者さんで100名、スタッフなど含めると200人近い集まりでした。日立病院に赴任したのが14年前、その頃の未熟児達が、元気に育ちもうすぐ小生を追い越そうとしていました。子供たちの顔では区別が付きませんでした。お母さん達の顔は皆記憶に残っていました。生まれたばかりで小さくて、命を心配していたことなどの思い出で、小生も15年も若返ったようでした。今しっかり育っている子供たちの成長の影で、親御さん達がどれだけ苦労したか、想像もできません。また会うことを約束して、帰途につきました。



お母さん方から、気になる投書を頂きました。内容が内容だけに、全文紹介するわけにもいきません。一つは青葉区のTさんから頂いたものです。石名坂の急病診療所での出来事です。急患で受診したところ、非常に混雑していたときです。前の患者さんへの、「こんな症状で来るなだって！」の一言が聞こえてきました。その後自分の番になって、先生の説明や態度に対する不安や怒りが綿々と綴られていました(便せん3枚の力作です)。もう一つは以前当院にかかっている、転居後2人目のお子さんがができて、しばらく来ていなかった青葉区のGさんからのものでした。「(略)しばらくは近所の病院に行っておりました。その先生のこと少しだけ聞いていただけませんか?。悪口みたいですがみません。(略)ある日熱が高くて呼吸も荒くぐったりして、食べ物はもちろんおっぱいも飲まなくなりました時、親の私はとても心配だったのに、“37台でも元気がなければ坐薬を使いなさい”“もう10ヶ月なんだからおっぱいなんか飲まなくていいじゃない、断乳しなさい”。私は???でした。(略)先日熱を出したとき、たまたま主人が休みだったので、久しぶりに受診することができました。その時の先生優しくわかりやすく説明してくださいました。もう先生から離れられなくなってしまい少々遠くても通ってこようと思います。(略)」。両方のお母さん達の体験は同じようなものです。ほかに当院や看護婦に対するお褒めの言葉を頂きました。このような手紙を頂くことは、何となく悲しい思いがします。



当院を評価しているお母さん達から頂く手紙(投書)は、本当にありがたいことです。他にも頂いているのですが、紙面の都合ですべて紹介することはできません。こんなお母さん達に支えられていると、つくづく感じてしまいます。小生も人間ですから、体調や何かで対応が少し変わるかもしれません。このような手紙を参考にして、「人のふり見て、我が身を正せ」を、実行していきたいと思えます。ありがとうございました。

お知らせの一つ、[またまた当院のホームページが全国誌\(単行本\)で紹介](#)されました。当院のホームページでも紹介しています。

・超図解PLUS定番ホームページ詳解800選

- インフォメーション編1999年度版 - エクスメディア社

“出産・育児”の“子供の病気についてメールで相談できる病院は?”に、[ホームページが写真入り](#)で掲載されました。便利なホームページが選ばれて、かなり役に立つ印象です。

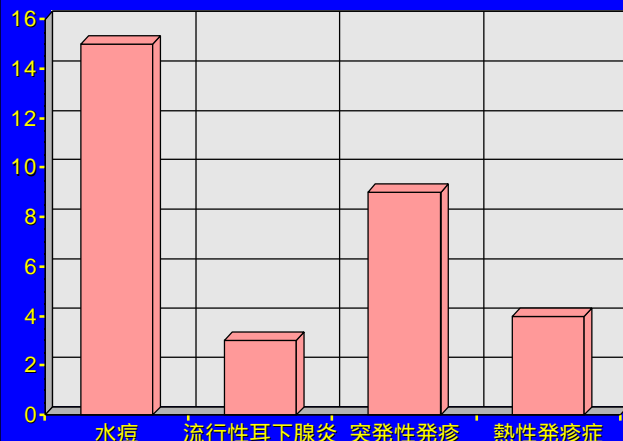
・子育てはなまるホームページベスト100 株式会社SCC

“ママはまず落ち着いて 病気&急なSOS編”で、[小生の写真とコメント](#)とともにホームページが写真入りで掲載されました。急な病気、発達の悩み、友達欲しい!と、育児に役立つものです。インターネットが利用できる環境であれば、子育ての必読書かもしれません。知名度五つ星で、過大なる評価を頂きました。

## 99年度第1回お母さんクラブのお知らせ

新年度になり、今年も『お母さんクラブ』を続けます。第1回の集まりを5月27日(木)、福沢市民センターで開催します。内容等は、追って連絡します。[医学的な内容](#)のつもりです。第1回なので、奮って御参加ください。

## 4月の感染症の集計



相変わらず水痘は、減る気配がありません。流行性耳下腺炎は、かなり少なくなりました。4月だというのに、まだインフルエンザが見られていました。県の感染症情報でも、ウイルスが分離されていました。インフルエンザ以外に、発熱が続く風邪や目やにが出る風邪も目立ってきています。喘息の子どもも後半に増えてきました。

### 編集後記

インフルエンザの流行も一段落して、少し落ち着いた季節になってきました。しかしなんやかんやとって、混雑の毎日です。今月号の新聞の発行、少し遅れてしまいました。ごめんなさい。何とか来月は頑張ります。お母さんクラブ、よろしくお願ひします。

